



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所(二日町)
在宅療養支援有床診療所(浦佐)

もえぎ

大野 黒八

7

Vol. 404
2026/7.15

さん書



さくり温泉健康館閉館(7/31)

撮影地:さくり温泉健康館

撮影者:関口 那央紀

地域の皆様に支えられて20年
長らくのご愛顧、
誠にありがとうございました。
皆さんお元気で。

職員一同



INDEX

- 2 ■ 熱中症の予防に尿の色をチェックしてみましょう/
人を育て、組織を育てる人事考課制度を目指して
- 3 ■ 新潟いのちの物語をつむぐ会 第16回長岡例会

- 4 ■ 漫画 和解ある老いと死 真心②
- 5 ■ 第3回 食べる幸せを支える魚沼の会 参加報告

- 6 ■ リハビリ職と楽しむ特別感あふれる集団体操/
萌気夏祭り2026のお知らせ
- 7 ■ 事業所紹介 / ふみ / 編集後記
- 8 ■ コム・ソフィ カフェのお知らせ

熱中症の予防に尿の色をチェックしてみよう

近年、地球温暖化の影響もあり、日本の平均気温は年々上昇しています。それに伴い厚生労働省のデータでも熱中症による死者数が増加傾向にあります(2014年519人、2024年2016人)

特に、亡くなった方の約85%が65歳以上の高齢者層の方です。

適切な水分補給を心がけ、しっかりと熱中症を予防しましょう。



問題なし
普段通りに水分を取りましょう

問題なし
コップ1杯の水分を取りましょう

1時間以内に250mlの水分を取りましょう
屋外あるいは発汗していれば、500mlの水分を取りましょう

今すぐ250mlの水分を取りましょう
屋外あるいは発汗していれば、500mlの水分を取りましょう

今すぐ1000mlの水分を取りましょう
この色より濃い、あるいは赤/茶色が混じっていたらすぐ病院へ行きましょう。

熱中症を防ぐためには、こまめな水分補給が欠かせません。そこで、ご家庭で簡単にできる『体内の水分チェック』として、尿の色をみてみることをお勧めします。

人間の体は、水分が不足してくると、腎臓が尿の水分を減らして体液量を調節するため、尿の色が濃くなります。(利尿剤を内服している方は変化が起りにくいので注意をしてください)

下記の表と見比べていただき、尿の色が濃くなってきたら『水分が足りていないサイン』です。



人を育て、組織を育てる 人事考課制度を目指して

萌気会の介護部門では、職員一人ひとりの成長と働きがいの向上を目指し、人事考課制度の整備に取り組んでいます。「人事考課」と聞くと、「査定」や「点数付け」といったイメージを持つ方もいるかもしれませんが、日々の頑張りや成果を認め、一人ひとりの成長を支援することも、人事考課制度の大切な役割です。また、上司と職員が定期的に対話を重ねることで、悩みや課題、今後の目標を共有しやすくなります。自分の強みやできるようになったことに気づきかけにもなります。

これまでの萌気会では、職員の成長を支援し、その頑張りを適切に評価するための仕組みづくりに課題がありました。そのため現在、外部の専門家の協力を得ながら、人を育てることを目的とした人事考課制度の整備を進めています。

職員それぞれが自分に期待される役割や目標を理解し、自身の成長や変化を実感できること。そして、その成長が利用者の皆さまへより良いサービスにつながることを。人事考課制度を「人を評価するため」ではなく「人を育てるため」の仕組みとして活用し、職員と法人がともに成長できる組織づくりを目指しています。

これまで萌気会では、職員の成長を支援し、その頑張りを適切に評価するための仕組みづくりに課題がありました。そのため現在、外部の専門家の協力を得ながら、人を育てることを目的とした人事考課制度の整備を進めています。

職員それぞれが自分に期待される役割や目標を理解し、自身の成長や変化を実感できること。そして、その成長が利用者の皆さまへより良いサービスにつながることを。人事考課制度を「人を評価するため」ではなく「人を育てるため」の仕組みとして活用し、職員と法人がともに成長できる組織づくりを目指しています。



萌気会事務局長
島村 康夫

いのちの物語をつむぐ会長岡例会に萌気会の各事業所のスタッフ7人で参加しました。今回のテーマは「ボランティアの力」。

登壇し発言した四人は長岡西病院ビハーラ(緩和ケア)病棟で死を覚悟しながら生きる人たちに関わるボランティアで、皆さんがボランティアを続ける理由の根底に、自身の深く悲しい経験があることが共通していました。サブテーマ「だれかのためにが、私の光になる。ボランティアのちからをもう一度信じて。」にあるように、ボランティアをすることで自身の気持ちを和らげ、幸せに昇華させるという訴えにも聞こえました。

私自身、多くはないがボランティアやそれに類似する活動に参加した経験があり、その活動の最中は連帯と充足を感じるものの、その背景の違いからか登壇者の境地には程遠いと感じてしまいました。

萌気園訪問リハビリテーションリらいふ
所長 関谷 藤丸

「死」とは、生物が生まれた瞬間に課される義務であり、それはその生命活動のプロセスにおける最後の大仕事である。一般的には死にはネガティブなイメージがつきやすいと思われるが、人間は宗教や偉人の言葉等に感化され、「死」に対するネガティブな印象を一変させることで、課された義務の重さ、苦痛を軽減しようという発想を持っている。

ある人は死後の世界を誰も知らないのに勝手に良くないイメージを持つのは愚かだとも言う。他にも「死」について調べると様々な解釈が出てくるが、結局のところ死後の世界はこうだ、と断言できるものはなく、想像の域を超えることはない。だからこそ様々な解釈があり、実在しない何かに縋る、信じるという思考は科学的側面からは距離を感じるように思えるが、結果として死を迎える本人をはじめ周囲の関係者の「死」に対する悲愴感が悲壮感へ転換され、再び前を向く手段となっている。

「死」をどう捉え、いかにして不安や苦痛の少ない境地に達し、幸福感に満ちた穏やかな心で終焉を迎える、又は見届けることができるか。今後も様々な体験を経て自分なりの「死」の解釈と向かい方、人間における終末期の関わり方を見出すことができるよう自身の生命活動が続けていこうと思う。

「新潟いのちの物語をつむぐ会」は一般市民、僧侶、医療・福祉関係者が各々の視点で命と死について考え、参加する皆で分かち合い新たな気づきを得ることを目的とした組織で、新潟県内のお寺を会場として年二回の例会が行われています。萌気会の黒岩卓夫先生が設立に関わったものです。

萌気会の職員は毎回数人が参加しています。他者の体験談や考え方を聞き、思いを話すことで自身を見つめ直す機会となる。私は参加する度にそついう感覚になります。

今回は萌気園浦佐診療所黒岩厳志先生の主催で、浦佐普光寺様を会場にお借りして10月17日(土)開催予定です。皆さまの参加をお待ちしています。

新潟いのちの物語をつむぐ会
第17回 長岡例会

子が先に逝くということ
～ 葬り終わらない想いを
どう受けとめ、どう生きてゆけばいいのかわからないを導かれる場になれば ～

第1部
例年長岡市・黒岩 厳志 さん
基調講演 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院) 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院)
基調講演 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院) 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院)
基調講演 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院) 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院)
基調講演 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院) 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院)

第2部
わが家あひ (グループワーク)

日時: 10月17日(土) 午後2時〜4時30分
場所: 普光寺 新潟県市道249号 舊地甲
参加費: 一般1,000円 子供500円 学生無料
主催: 萌気会
協賛: 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院) 黒岩 厳志 さん (いんぎく舎代表・長岡市立病院)
電話: 025-771-4165 FAX: 025-771-0900
メール: info@nigata-life-story.jp



第3回 食べる幸せを支える魚沼の会 参加報告

.....【開催日】6月27日.....【会場】魚沼基幹病院.....

萌気会 理事長
萌気園浦佐診療所 院長 黒岩 巖志

この会は、魚沼地域の医療・介護職が集い『病気などで口から食べることが難しくなった人』をどのように支えるべきか?について皆で考え学び合う会です。前半が講演会で、後半が事例紹介後に議論、というプログラムでした。



前半は、スワローウィッシュクリニック院長金沢英哲(ひであき)先生による講演。金沢先生は、体が不自由で医療機関への受診が困難な摂食嚥下障害患者さんへの訪問診療・治療のため全国を飛び回っている医師です。テーマは『摂食嚥下障害における倫理』。倫理とは、人が正しく振舞うための善悪の価値観のこと。誤嚥性肺炎を繰り返す嚥下障害患者さんにおいて『肺炎で致死的状态に陥らないよう胃瘻を造設する』ことと『自分の人生だから死に至る危険があっても好きなものを好きなだけ口から食べる』は相反することですが両方とも正しい。生死に関わる難しい決断を強いられたとき、最善の着地点にたどり着くためにはどのように考えどのように振舞うべきか?着地点を見いだせなくてもその人の幸せのために関係者で繰り返しとことん話し合うというプロセスが大切であり、話し合う方法としてジョンセンの臨床倫理 4 分割法を使うと良いということを学びました。後半は、判断が難しくモヤモヤが残る摂食嚥下障害の2症例について金沢先生も交え会場の皆で意見交換をしました。大変学び多き会でした。

講演会(zoom)に参加しての学び

二日町診療所
看護師 目黒 瑛見

私自身、食べることがとても好きなため、研修内容に興味を持ち参加しました。

在宅でのケアは、外来や訪問など患者様と関わる時間が限られています。そのため、その方に合った関わり方や話し方を心掛けることはもちろん、関わった際の何気ない言葉や周囲の環境などから患者様の情報を丁寧に収集・分析し、「患者様にとっての幸せとは何か」を第一に考えることが大切だと学びました。そして、多職種が連携し、共通の目標を持って支えていくことの重要性を改めて感じました。



また、「食べること」と一言で言っても、栄養摂取には経口摂取だけでなく、点滴や胃ろう・腸ろうなど、さまざまな方法があります。食事に対する価値観は一人ひとり異なるため、支援を行う中で、必ずしも患者様の希望どおりの結果が得られるとは限りません。しかし、ゴールだけでなく、そこに至るまでのプロセスを大切にしながら患者様と関わることで、患者様の満足感や「食べる幸せ」につながるのではないかと感じました。

毎日が新鮮!曼陀羅華に来てくれた 新しいリハビリ職と楽しむ特別感あふれる集団体操

希望者に参加していただいている集団体操。筋力や柔軟性の向上といった「身体機能の維持、改善」だけでなく、仲間との交流による「孤独感の解消や認知期の活性化」にも力を入れた体操を提供しています。体操後には、子どもの様な笑顔で「楽しかったー。」と嬉しいお言葉をいただいています。

体操で期待できる効果





日時 9月5日(土) 18:00~20:00

場所 二日町診療所前駐車場

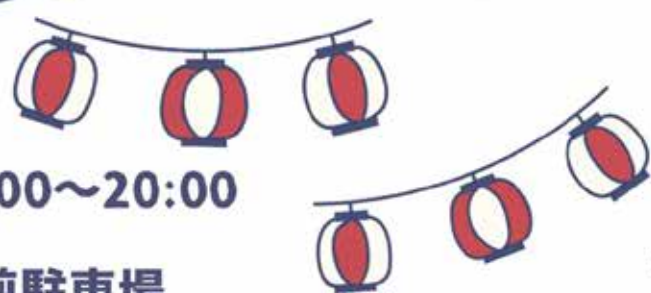
お知らせ

催し物、屋台、キッチンカー
出店予定です。

抽選会は、
19:30頃を予定しています。

駐車場は、職員駐車場をお使い下さい。







萌気 夏祭り

2026

主催:萌気会 お問い合わせ先:しょうたき萌気 コム・ソフィ 担当(若井) TEL:025-778-0311

うちの利用者さん

萌気園小規模多機能ホーム さくりの郷



丸山 アヤ子 様

丸山アヤ子さんは、いつも穏やかな笑顔で周りを和ませてくださる素敵な方です。控えめなお人柄ながら気配り上手で、その優しさにスタッフも利用者の皆さんも癒やされています。

5月に、登川へ鯉のぼりを見に出掛けただけには、木の芽を見つけて嬉しそうに摘まれています。お話を伺うと、以前はよく山菜採りに出掛けていたとのこと。自然に親しんできた思い出が今も大切に残っているようです。

ご自宅ではテレビを楽しみながら過ごされているそうです。これからもその優しい笑顔で、さくりの郷に温かな時間を届けてください。

ふみ

萌気園老人ホーム「すみれ草」



萌気園老人ホームすみれ草 山口 ケン様

文 長男様より

母が「すみれ草」さんに入所して六年が経ち、今年三月で九十八歳を迎えることが出来ました。その昔、父もお世話になり、偶然にも同じ部屋でお世話になっています。

二年前の八月に許可をいただき、姉と二人で母を自宅に連れて帰ったことがありました。しかし、一時間も経たないうちに帰りたと言いつつ、もう我が家は「すみれ草」だと思っているようでした。入所前は畑仕事に勤しみ、大正琴を嗜み、歌も大好きでラジカセなどで楽しんでいました。

面会の時に好きな歌手のCDを持って行き、ヘッドホンで聴かせると手拍子をしながら口ずさむ時があり、その母の姿に昔を思い出し嬉しくなりました。

これからも、「すみれ草スタッフ」さんのお手を煩わせると思いますが、よろしく願っています。

編集後記

しょうたき萌気 コム・ソフィ 今井 大輔

7月号が発行されている頃には梅雨も明け、本格的な夏を迎えているでしょうか。7月といえば、各地域でお祭りや花火大会が開催される季節ですね。

さて、今年も萌気会恒例のお祭りを開催いたします！今回は場所を浦佐から二日町に移し、9月5日(土)の開催を予定しています。皆様の振るつてのご参加を心よりお待ちしております。私の勤め先である「コム・ソフィ」も二日町にあるため、今からとても楽しみです。

厳しい暑さが続きますので、こまめな水分補給を心がけ、どうぞ体調にはお気を付けてください。

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。



参加して見ませんか??

認知症カフェ

～みんながつながる、やさしい居場所～

認知症の方やご家族、地域の方、
専門職などが集まり、お茶を飲みながら
交流や相談ができる場です。
ひとりで抱え込まず、みんなで支え合う
地域づくりを目指しています。

ほっとひと息
つきませんか?

どなたでも
気軽にご参加
ください♪

安心して話せる
つながりが
ここに 있습니다

みんなの笑顔が、支え合いの輪につながります

こんなことを
しています

- ♥ お茶を飲みながらおしゃべり
- ♥ 介護や認知症の相談
- ♥ 情報交換
- ♥ レクリエーション
(歌・体操・工作など)
- ♥ 専門職に相談できる

交流・おしゃべり

相談できる

情報交換

レクリエーション

専門職に相談

地域とのつながり

コムソフィ カフェ

7月26日 (日) 14:00～15:00

参加費：100円

お飲み物や軽い手作業をご用意しております。



しょうたき萌気
Com・philosophy
コム・ソフィ



025-778-0311

〒949-6772 新潟県 南魚沼市 二日町 212-1 医療法人社団 萌気会 しょうたき萌気 コム・ソフィ (担当: 若井)

※ 介護の相談も受け付けております!